

お知らせ

県立置賜農業高校 生物生産科3学年が お米甲子園で“最高金賞”を受賞しました！

令和2年12月

山形県立置賜農業高等学校(校長 吉田直史)の生物生産科3学年(作物専攻)で生産されたコシヒカリ(アイガモ栽培)が、令和2年11月に開催された「第11回全国農業高校お米甲子園」において「最高金賞」を受賞しました。本賞は、全国の農業高校の実習田で育てたお米180点の中で、一次・二次審査を通過した15点(校)による最終審査の結果から、最高位(1点)に与えられる賞です。

本校では、第1回大会から出品しており、第8回大会を除くすべての大会において最終審査へ進出しています。第9回大会では上位5点に与えられる「金賞」を受賞しましたが、今回はそれを上回る受賞となりました。

○本校出品米について

品種:コシヒカリ

栽培の特徴:アイガモ栽培により、農薬や化学肥料を使わずに栽培しています。毎日の飼育管理も生徒が交代で行っています。また、収穫後は杭掛けし天日乾燥でお米のうま味を凝縮しています。生徒が汗水流して管理し、またたっぷりの愛情を注いでできたお米です。



生物生産科作物専攻の3年生です。



アイガモ栽培に加えて手押し除草機も導入し、雑草の発生を抑えます。



収穫作業も生徒自ら行います。



杭掛けの様子です。約50本の杭に稲を掛けてゆっくりとお米を乾燥させます。

○受賞歴

H22年 第1回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H23年 第2回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H24年 第3回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H25年 第4回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H26年 第5回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞

※プレゼンテーション部門 初代グランプリ

H27年 第6回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H28年 第7回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞
H30年 第9回 全国農業高校 お米甲子園 金賞
R1年 第10回 全国農業高校 お米甲子園 特別優秀賞

R2年 第11回 全国農業高校 お米甲子園 最高金賞

○大会概要(米・食味分析鑑定コンクール:国際大会in富士山実行委員会HPを参考に作成)

- ・大会名:第22回米・食味分析鑑定コンクール 第11回全国農業高校お米甲子園
- ・主 催: 米・食味鑑定士協会
米・食味分析鑑定コンクール:国際大会in富士山実行委員会
- ・後 援:農林水産省 関東農政局、静岡県、JA静岡中央会、JA静岡経済連、全国農業新聞、農業共済新聞
- ・最終審査開催日:2020 年 11 月 28 日(土)
- ・審査会場:静岡県駿東郡小山町 小山町総合文化会館(今大会はコロナウイルス感染拡大防止のため無観客開催)
- ・目 的:農業の後継者不足・若者の米離れなどが進む中、未来を担う高校生たちに、今一度米作りを見つめなおし、世界でも有数の”日本のお米”に誇りを持ち、その伝統を受け継ぎ更なる発展を目指してほしいとの思いから、「全国農業高校 お米甲子園」は、米・食味鑑定士協会主催「米・食味分析鑑定コンクール:国際大会」の一部門として開催されています。全国の農業高校の実習田で育てたお米が競い合うのは、「全国農業高校 お米甲子園」のみです。
- ・審査方法:整粒値75%以上・味度値85点以上にて2次審査を行います。まずは、1次審査と2次審査の合計点数の高い順に7校が選出されます。(この際地域は考慮されません)次に、選ばれた7校の出品検体を抜いた検体の中から、地域に分け、8校がノミネートされます。そしてノミネートされた15校は官能審査を受け、金賞・特別優秀賞が選出されます。

山形県立置賜農業高等学校

担当:教諭 上野真二(作物部門)

電話:0238-42-2101

FAX:0238-42-2103

メール:suenos@pref-yamagata.ed.jp